

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第1回 神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年 5月 22日(月) 10:30 ~ 12:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長, 委員長, 支援課)

- ・昨年度から委員の入れ替わりもあるが, 昨年同様に学校への協力をお願いしたい。(委員長)
- ・今年度は594名25学級でスタートをした。新型コロナも5類となり, 学校での活動についても見直し等行っていく。(学校長)
- ・学校改革方針の承認が今回の学校運営協議会の目的の一つである。活発な意見交換をしつつ, 子どもの成長に活かせる運営協議会にしてゆくことが大切である。(支援課)

4 議事内容

(1) 本年度の学校経営方針について

学校経営構想

- ・わかる喜び・学ぶ喜びが実感できる学校
- ・一人ひとりが大切にされる学校
- ・家庭や地域に信頼され, とともに創り上げる学校
- ・子どもの成長を喜び, 教職員自らも成長し続ける学校

研修部

- ・主体的に学びに向かう子の育成
(各教科の特質に応じた考える活動の工夫を通して)

人権部

- ・人権を尊重し, 豊かにつながる子どもの育成

生徒指導部

- ・安全で安心して居心地よく過ごせる学校にするために, 自分の行動を見つめながら, 自ら行動できる子どもを育てる。
※ 指導の原則「その時 その場で その人が」

(2) 神戸小学校区学校運営協議会代表者会について

- ・日時決まり次第お知らせ

(3) 学校運営協議会委員の皆様からの本校教育活動へのご指導・ご助言

- ・子ども家庭庁の発足にあたり，子ども条例について研修や講話が必要となるのではないか。
- ・学校配布の「神戸小のきまり」を地域にも展開し，町ぐるみで子どもを見ていくことも大切である。学校での指導を地域でも行っていきたい。

5 総括（支援課）

- ・学校関係者評価について

学校運営協議会の大きな目的の一つに，学校関係者評価がある。学校に来る機会を増やして子どもの姿を見ていきたい。

- ・ボランティア活動について

3年間，縮小傾向にあったため，なかなかボランティア人材が見つからない状況が市内にもある。地域回覧などに募集掲載するなどの手立てが必要である。